

熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会の今後の進め方等

熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備に係る方針を審議・決定

【例】

「小さな拠点施設機能には〇〇の機能が必要」

⇒ 「〇〇の機能については、××に配慮すること」

⇒ 「〇〇の機能の規模については、ランニングコストの増加を招かないよう留意すること」

※ 「〇〇機能に□□の設備が必要で、面積は約●●m²」などの審議・決定は行わない。

【審議会終了後のスケジュール】

概算全体事業費を予算計上

基本設計・実施設計費用を予算計上



基本設計・実施設計に着手



建設事業に着手

少子・高齢化等で崩壊が懸念される地域を持続可能な地域にするための取組み

～ 小さな拠点づくりとは ～

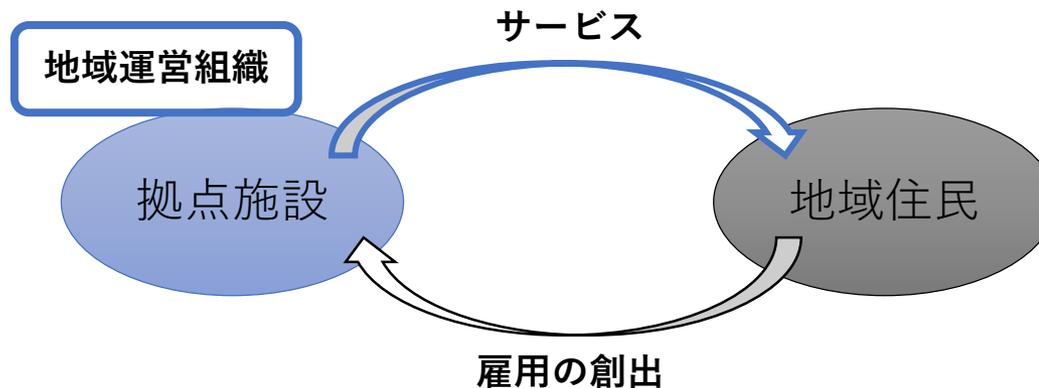
中山間地域等の集落圏において、安心して暮らしていく上で必要なサービスを受け続けられる環境を維持していくために、地域住民が市や事業者、各種団体と協力し、役割分担しながら、各種生活支援機能を集約して確保し、かつ、地域の資源を活用し、仕事や収入を確保する取組



熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会（熊ヶ畑地域将来計画）

地域の課題：人口減少（若者流出、空家の増加、耕作放棄地の増加など）
熊ヶ畑活性化センター、白雲荘など地域の拠点施設の老朽化 など

対 策：熊ヶ畑活性化センターを核とした地域資源を活用、地域の魅力を発信し、交流人口・定住人口の増加を図る。



市

- ① 審議会で決定した整備方針
- ② 小さな拠点づくりの目的
- ③ 熊ヶ畑地域将来計画の構想
- ④ 施設のランニングコスト縮減
- ⑤ 公共施設の適性化（市全体の公共施設の延床面積縮減）
- ⑥ 利用料金その他施設との均衡
- ⑦ 整備費に対する有利な財源の活用条件
- ⑧ 市の交流人口・定住人口施策の現状
- ⑨ 熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会の意見

①～⑨を総合的に考慮し、設計に反映

熊ヶ畑地域 小さな拠点形成委員会

地域運営組織の構築

意見交換
情報共有